

「令和4年度 第1回 人と動物との共生推進よこはま協議会」会議録

日 時	令和4年6月23日（木）午後2時00分から午後3時00分まで	
開催場所	横浜市 市庁舎 18階 みなと1・2・3会議室	
出席者	溝呂木啓之、植竹勝治、伊東綾子、田中数馬、加藤精二、中畑嗣也、赤澤暁昌、田代さとみ、 富高恵子（順不同）	
欠席者	大久保芳樹、山田佐代子、佐藤雪太	
開催形態	公開（傍聴者0名）	
議 題	1 令和4年度横浜市動物適正飼育推進員の研修計画（案）について	
決定事項	議題1 令和4年度横浜市動物適正飼育推進員の研修計画を案に沿って実施すること	
資 料	1 次第 2 委員名簿 3 令和4年度横浜市動物適正飼育推進員の研修計画（案）について（資料1） 4 令和4年度横浜市動物愛護管理業務計画（資料2） 5 令和3年度横浜市動物愛護管理業務実施結果（資料3）	
議 事	議題1 令和4年度横浜市動物適正飼育推進員の研修計画（案）について	
	事務局	資料1に沿って説明  (質疑・意見)
	伊東委員	推進員研修には、区の職員の参加を必須としてほしい。
	事務局	参考にする。
	溝呂木会長	承認とし、資料1の案を消し確定とする。
	事務局からの報告1 令和4年度横浜市動物愛護管理業務計画について	
	事務局	資料2に沿って説明
	事務局からの報告2 令和3年度横浜市動物愛護管理業務実施結果について	
	事務局	資料3に沿って説明  (質疑・意見)
	溝呂木会長	事務局からの報告について、意見、質問等あるか。
田中委員	1 ペットの同行避難訓練では何を行っているのか。 2 ペットの飼い主に対しても訓練を行っているのか。	
事務局	1 各地域防災拠点でペットの同行避難の受け入れ準備が進んでいる所では避難所開設運営マニュアル等を作成している。地域によって到達度に差があり、飼い主への支援や啓発活動を続けている。 2 行っている。	
伊東委員	1 地域猫活動支援事業について、不妊去勢手術や地域での餌やり、餌の片づけ、糞尿処理等世話の方法も含めて支援しているのか。	

事務局	<p>2 餌の始末等の管理を自覚させるため、プレートを掲げて活動するとよい。</p> <p>1 啓発や指導等を行っている。</p> <p>2 この支援の目的は、それぞれの活動段階に合わせて、よりよくなるような支援を行っていくことである。一年ごとの報告や、目標設定をとおして段々とステップアップしてもらう。</p>
中畑委員	<p>1 それぞれの地域に担当者・市民の代表者がいるのか。</p> <p>2 代表者からの申請があつて初めて登録となるのか。</p> <p>3 苦情をもとに訪問、指導は行わないのか。</p>
事務局	<p>1 地域で3名の管理者を登録してもらっている。</p> <p>2 登録は代表者からの申請で行っている。</p> <p>3 区の職員、地域のボランティア、推進員とともに課題解決のため対応することはある。</p>
加藤委員	<p>地域猫支援事業について</p> <p>1 手術費等の金銭的な支援もあるのか。</p> <p>多頭飼育問題について</p> <p>1 横浜市の状況はどうか。</p> <p>2 情報をいち早く掴み、ひどくならない内に関与できないか。</p> <p>3 譲渡団体など、その他の組織との連携も含めて検討していく必要がある。</p>
事務局	<p>地域猫支援事業について</p> <p>1 区と調整のうえセンターで手術を行い地域に戻しており、手術費用の支援につながっている。</p> <p>多頭飼育問題について</p> <p>1 現在、情報収集及び確認をしており、潜在的なものを探知できるよう体制を整えている。</p> <p>2 多頭飼育する方はご本人の問題だけでなく、社会福祉サービスが必要となることが多い。動物にフォーカスされがちだが、動物を引き取るだけでなく、今後増やさない、集めないようにするための継続的な支援も含めて必要である。そのために市の体制を整えている。</p> <p>3 参考にする。</p>
閉会	